台灣沖の捷報續々到る

中部日本戰時版

空母九戰艦一始め 廿三隻を擊沈破

來襲敵艦隊を擊攘

十二日以來の戰果

（昭和十九年十月十五日十時發表）台灣東方海面の敵機動部隊は昨十四日來東方に向け 敗走中にして 我部隊は 此の敵に對し反復猛攻を加へ戰果擴充中なり 現在迄に判明せる戰果（既發表のものを含む）左の如し

大本營發表

轟撃沈	航空母艦	七隻	
	驅逐艦	一隻	
註	既發表の艦種不詳三隻は航空母艦三隻なりしこと判明せり		
撃破	航空母艦	二隻	
	戰艦	一隻	
	巡洋艦	一隻	
	艦種不詳	十一隻	

海上部隊も呼應

敗走の敵を猛追擊中

機動部隊であることが判明し、更に十三日夜明以來いわが航空機による攻撃を受けながらなほ執拗に台灣方面要地の空襲を連續した、その侵寇態勢の程は瞭然明白であり、なほ執拗にその侵寇を企圖してゐるものの如くである、いま敵機動部隊は この敵に對し十二日夜半以來猛烈なる攻撃を加へ 敵艦隊に大損害を與へつゝあるが、更に十三日夜半以來 敵艦隊に對する攻撃を續行中であり 海上遠く逃走する敵艦を猛追撃中である、

今回 敵の敵兵力が敵艦に

長距を誇としてゐる陸攻隊は 擊沈敵空母七隻の大部分が 轟沈空母であることが想像され、また 雷撃 沈破敵艦の人員損害が 推定約一万二千九百五十名、飛行機損害約二百機に達することよりして 今回わが航空部隊による 必殺 攻撃に依る敵艦隊の損害は 實に甚大なるものとなるわけである、かくして敵は 敗走中にあるいまこの戰果に加へて 敵の受けた大損害と 敵艦隊の潰滅とを 推定されし 今回の戰果が 加へられ 敵艦隊の撤退を 推測するとその如くなるう、先づ 大型 空母一隻 に約十五百名乘組 一隻 に約千五百名乘組 むとして 三隻で 約四千五百名 中型空母 巡洋艦 一隻 に約千名 として四隻で 約四千名 駆逐艦 一隻 に約三百名 として四隻で 約千二百名 合計一万二千九百五十人 に甚大なるものとなるわけである、かくして敵は 敗走中にあるいまこの戰果に加へて 敵の受けた大損害と 敵艦隊の潰滅とを 推定されし 今回の戰果が 加へられ 敵艦隊の撤退を 推測するとその如くなるう、先づ 大型 空母一隻 に約十五百名乘組 一隻 に約千五百名乘組 むとして 三隻で 約四千五百名 中型空母 巡洋艦 一隻 に約千名 として四隻で 約四千名 駆逐艦 一隻 に約三百名 として四隻で 約千二百名 合計一万二千九百五十人

赫々たり この戰果

去る十日來の攻撃において 敵艦隊に對し 敵機動部隊に對する攻撃において 敵艦隊に對し 敵機動部隊に對する攻撃において 敵艦隊に對し 敵機動部隊に對する